

みんなの丸亀



丸亀市コミュニティ協議会連合会・丸亀市連合自治会 だより

編集・発行／丸亀市コミュニティ協議会連合会・丸亀市連合自治会 丸亀市大手町二丁目4番21号 TEL0877-24-8809

活動報告

令和5年度 合同防災訓練

1月17日(水)



1月17日は、29年前に阪神大震災が発生した日であり、その教訓を忘れないよう3年振りに防災訓練を実施しました。今年の1月1日には、能登半島地震が発生し、地震の恐ろしさを改めて感じるとともに、訓練の必要性を感じました。

今回は、2部構成とし、前半で訓練、後半に、講演会を開催しました。



開始式

①担架搬送及び車いす搬送訓練
毛布で担架を作り搬送する訓練や、車いすで坂道や段差を搬送する訓練



毛布で担架を作り搬送

②避難所設営訓練
段ボールパーティションや段ボールベッド、簡易トイレなどの組み立ての訓練



段ボールパーティションの組み立て

③生活用水等補給訓練
生活用水の確保のため、水路から水を汲み上げ水を溜める、バケツリレーの訓練



水路から水を汲み上げ、バケツリレー

④情報伝達訓練
香川大学の先生・学生も参加し、簡易無線機を使用した訓練



簡易無線機を使用した訓練

○講演会

講師は名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長の福和伸夫教授です。福和教授は、防災功労者内閣総理大臣表彰など多数受賞され、災害被害を軽減する国民運動などに注力されています。

今回の講演会「温故知新で大規模地震に備える」では、揺れの体験や歴史と絡めた地震の発生などを分かりやすく解説していただきました。



講師 名古屋大学名誉教授あいち・なごや強靱化共創センター長 福和伸夫教授

○炊出し

自主防災と社会福祉協議会の協力のもと、薪による豚汁とご飯の試食



薪による炊出し

災害の備え

できていますか？



電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食料等を備えるようにしましょう。

備蓄品

(家に備えておくもの！)

● 飲料水

7日分(1人1日3ℓが目安)



● 非常食

7日分の食料として、ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど

※人数分用意

● 生活用品

トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ、ゴミ袋、ラップ、携帯用トイレ、ポリタンクなど



※飲料水とは別に、トイレを流すための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する。お風呂の水をいつも張っておく、などの備えをしておきましょう。



非常用持ち出し袋

(避難の際に持ち出すもの！)

- 水
- 食品
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣類・下着
- 紐なしのズック靴
- 懐中電灯(手動充電式が便利)
- 携帯ラジオ(手動充電式が便利)
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品(絆創膏、包帯、消毒液、常備薬など)
- 貴重品(通帳、現金、運転免許証、診察券、マイナンバーカードなど)
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ブランケット
- 軍手
- マスク
- ウエットティッシュ
- 使い捨てカイロ
- ペン・ノート



ほかにも、
家庭に必要なものは日頃から備えておきましょう



この会報は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。

活動記録

〈10月以降〉

- 10月4日 理事会
- 11月21日～22日 資源リサイクル推進協議会 合同視察研修
- 愛知県瀬戸市 新郷地域力推進協議会 愛知県豊田市 緑のリサイクルセンター
- 10月18日 全国自治会連合会 北海道札幌大会
- 12月13日 理事会
- 1月17日 合同防災訓練
- 2月7日 理事会
- 2月15日 中四国ブロック会研修会 (広島県福山市)
- 2月27日 県政との意見交換会並びに令和5年度市町連合自治会会長及び担当者会 (高松市)

自治会集会場の整備には

補助金 がでます

自治会集会場(自治会で管理する自治会館・生活改善センター・公民館等を含む)の整備事業に対して補助制度があります。

対象になる整備

- 自治会集会場及び物置の新築、増築、改修に要する工事費及び設計・監理費
(登記費用、負担金、確認申請の費用は除きます)
- 自治会集会場及び物置の新築に伴う既存建物の解体工事費
- 自治会集会場の外構施設の整備、改修に要する工事費
- 自治会集会場として使用する建物の購入代金
- 自治会集会場の敷地、駐車場の確保、ごみ置場整備等のために取得する土地の代金及びその整地工事費
- 自治会集会場に備える机・椅子の購入費

※ただし、補助対象経費として認められた額が30万円未満の場合は補助の対象になりません。

他から重複して補助金の交付を受ける場合は、補助の対象にはなりませんのでご注意ください。



補助の金額

- 市長が認定する額の100分の30以内
(1,000円未満切り捨て)の額

注意事項

- 事業を実施する前の年度の9月末までに「事業実施計画書」を提出してください。
(申請の年度に気を付けてください。)
- 必ず補助金交付決定通知を受けてから事業に着手してください。
(決定通知前に事業に取り掛かった場合は、補助金はできませんので注意してください。)

※手続きなど詳しいことは、

丸亀市生活環境課コミュニティ担当までお問合せください。

連絡先

TEL:0877-24-8809 FAX:0877-25-2409

E-mail:seikatsu-k@city.marugame.lg.jp

長年にわたり赤い羽根募金に協力したとして、全国社会福祉大会で県内初となる「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。
地域が一丸となって取り組んでいる川西地区委員会の皆さん、おめでとうございます。

丸亀市共同募金委員会 川西地区委員会

厚生労働大臣表彰受賞!



岡田地区



岡田ふれあい広場 冬のイルミネーション準備の様

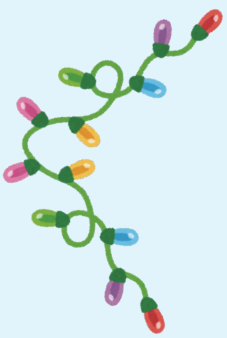
長く続いたコロナ禍から抜け出して、ようやくコロナ禍以前の社会生活が戻ってきました。それまでは、社会全体が出口の見えない長いトンネルに入ったようで、閉塞感につつまれた日々が続いていました。イベントが軒並み中止となる中、こども未来部が中心になって「岡田ふれあい広場」をLED装飾して沈みがちな気持ちを癒してもらおう取り組みをはじめたのが3年前です。以後、毎年夏のイルミネーション、冬のイルミネーションとして地域の内外から好評を得ています。



岡田ふれあい広場 冬のイルミネーションの様

光につつまれる「岡田ふれあい広場」は、多くの方に散策していただける場所になりました。今では、コミュニティ役員だけではなく、小学校PTAの皆さんとも協力して作業が進められるようになってきました。

若い世代との協力を進めて、イルミネーションのようにキラキラ輝く地域にしていきたいと思っています。



みんなのコミュニティ

コミュニティの取り組みを紹介します。

本島地区

本島地区で実施した行事を紹介いたします。

①住民総参加型の「本島大運動会」

本島の幼保、小・中学校と町民の合同による「本島大運動会」を開催しました。コロナ禍で4年ぶりの開催となりましたが、子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、玉入れや子どもたちのダンス、大人vs子どもの本気（ガチ）リレー対決などで会場は大いに盛り上がりました。コロナ禍の長い自粛期間で希薄になりつつあった地域のつながりを再確認できる良い機会となり、引き続きさまざまな行事を復活させて地域活性化に取り組んでいきます。



老若男女で玉入れ

②塩飽本島合同文化祭を開催

11月3日の文化の日に、本島コミュニティセンターで合同文化祭を開催しました。島の大人と子どもたちによる作品展示のほか、島ののど自慢によるカラオケ大会や、島の有志による職人さんからの餅つきなどで、会場は大いに盛り上がりました。

本島には国の史跡に指定された塩飽勤番所跡をはじめとする多くの文化財が残されています。これからも歴史・文化財の宝庫と言われる本島へ多くの方にお越しいただけるよう、様々なイベントの開催や本島のPRに努めていきます。



迫力ある三丁杵

